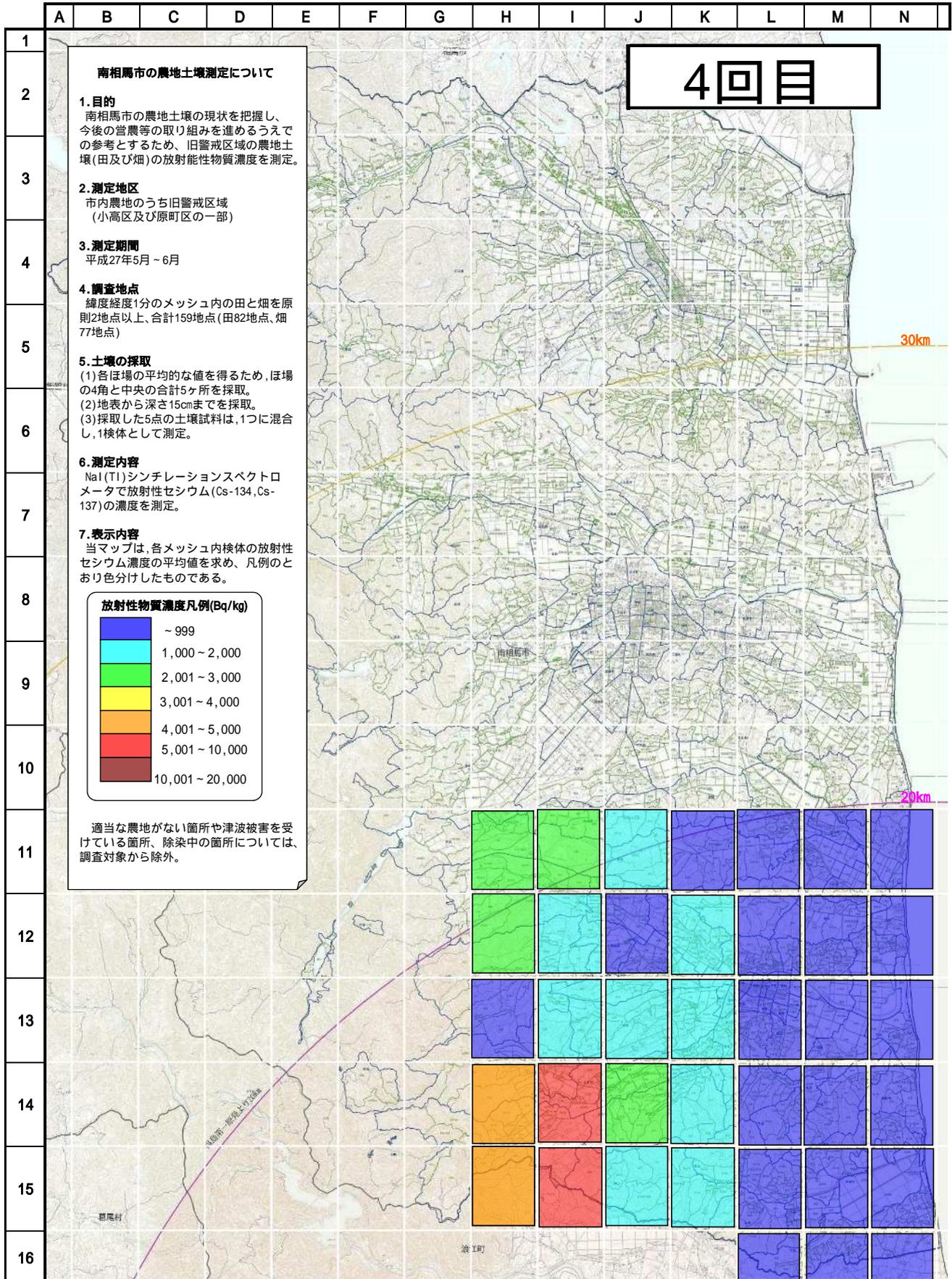


# 南相馬市内(旧警戒区域)農地土壌放射性物質濃度測定マップ(平成27年5月～6月)



## 南相馬市の農地土壌測定について

1. 目的  
南相馬市の農地土壌の現状を把握し、今後の営農等の取り組みを進めるうえでの参考とするため、旧警戒区域の農地土壌(田及び畑)の放射性物質濃度を測定。
2. 測定地区  
市内農地のうち旧警戒区域(小高区及び原町区の一部)
3. 測定期間  
平成27年5月～6月
4. 調査地点  
緯度経度1分のメッシュ内の田と畑を原則2地点以上、合計159地点(田82地点、畑77地点)
5. 土壌の採取  
(1) 各ほ場の平均的な値を得るため、ほ場の4角と中央の合計5ヶ所を採取。  
(2) 地表から深さ15cmまでを採取。  
(3) 採取した5点の土壌試料は、1つに混合し、1検体として測定。
6. 測定内容  
NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータで放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の濃度を測定。
7. 表示内容  
当マップは、各メッシュ内検体の放射性セシウム濃度の平均値を求め、凡例のとおり色分けしたものである。

**放射性物質濃度凡例(Bq/kg)**

Blue	～ 999
Cyan	1,000～2,000
Green	2,001～3,000
Yellow	3,001～4,000
Orange	4,001～5,000
Red	5,001～10,000
Dark Red	10,001～20,000

適当な農地がない箇所や津波被害を受けている箇所、除染中の箇所については、調査対象から除外。

この測定マップを作成するにあたり、福島県土地改良事業団体連合会にご協力いただきました。